

第3章 DX推進の基本方針と取組

主な取組内容のロードマップ（令和5年分）

基本方針	事業内容	2023（令和5）年度		WG		
		事業名	詳細内容（仮） 参考例です。目的を達成する手段を考えた結果違う内容になることもあります。			
基本方針1 いつでも、どこでも、だれでも利便性を実感	各種行政手続きのオンライン化	サービスの提供、利用促進	行政手続オンライン化 （電子申請手続の受付業務の拡大）	いつでも、どこでも、簡単に住民サービスの手続きが行えるように、行政手続オンライン化を行う。	住民課、税務課、保険課、福祉課、生涯学習課、子ども応援課	住民
			窓口のデジタル化 窓口申請のタブレット入力（書かない窓口）	窓口に手続きにかかる滞在時間や対面時間を短縮し簡単に手続きを行う。	住民課、税務課、保険課、福祉課、子ども応援課、まちづくり推進課	住民
			Web完結型口座振替サービス	ヤマトシステム開発の「公金収納支援サービス」を活用。印鑑不要で利用者がスマートフォンやタブレット端末を使って口座振替手続きを可能にする。	税務課、保険課	税務
			オンライン相談の導入	web会議システムなどを活用した遠隔相談環境を整備し、相談業務のオンライン化を図る。	保健センター、まちづくり推進課、生涯学習課	保健C
	オンライン手続きにおけるキャッシュレス決済の導入	構築、サービス開始、キャッシュレス決済に対応した手続の拡大	オンライン申請のキャッシュレス化	オンライン申請と同時に手数料等の支払いをクレジットカードやQRコード決済などで行えるようにする。	住民課、保険課、生涯学習課	デジ
	LINEを活用した予約サービスの推進	予約サービス機能の利用促進、対象業務の拡大	LINEを利用したオンライン予約・申込	スマートフォンから各種検診（健診）や教室、相談などの予約・申込をできるようにする。	住民課、地域包括支援センター、まちづくり推進課、保健センター、生涯学習課	生涯
	コンビニ交付の推進	利用促進（住民票の写し、印鑑証明書）	コンビニ交付の推進	各種証明書のコンビニ交付を推進する。	住民課	住民
基本方針2 ICTを活用した行政業務の効率化	AI・RPAの活用推進	実証実験、RPA利用開始・利用促進	RPAの利用 生成AIの活用	パソコン内の作業を自動化するソフトであるRPAを導入する。 生成AIを業務で活用できるように環境を整える。	デジタル化推進室 デジタル化推進室	デジ デジ
	議事録作成システムの導入	運用開始・利用促進	議事録作成システムの導入	会議等の音声データの自動文字起こしを可能にする。	全課	デジ
	クラウドサービスの利活用	情報システムの標準化・共通化 預貯金調査照会業務へのクラウドサービス導入、適用業務の検討・導入推進	預金調査等のオンライン化	国税徴収法第141条に基づく財産調査をオンラインで行う。	デジタル化推進室 税務課	デジ 税務
	デジタル人材の活用	eラーニング研修、外部デジタル人材の活用	デジタル人材の活用	職員へ研修等を実施しデジタル人材を育成するとともに、外部デジタル人材の活用を行う。	デジタル化推進室	デジ
基本方針3 地域のデジタル課題解決	子育て応援アプリの活用	サービスの提供、利用促進	子育て応援アプリの活用	子育て応援アプリの利用促進を行う。	子ども応援課	子ども
	高齢者の見守り	サービスの提供、利用促進	高齢者の見守り 人感センサーを利用した独居高齢者緊急通報システム	電気・ガス・水道メーターを利用した安否確認 赤外線による人感センサーを「居間」「寝室」「玄関」へ設置し、センサーの検知がないなどの場合には緊急通報がシステム会社のコールセンターへ届き、専門知識を有するオペレーターが本人へ確認の電話をし、さらに緊急時には登録されたご近所、親族、消防署などへ連絡が入る仕組み。	保険課 保険課	保険 保険
	防災行政無線のLINE配信	サービスの提供、利用促進	防災情報伝達の多重化	災害時には、防災行政無線や緊急メール配信等により、町民に防災情報を伝達している。住民から防災行政無線の音声聞き取りづらいという課題があるため、防災行政無線の内容をLINEで配信を行う。	防災安全課	デジ
	バスロケーションシステムの活用	サービスの提供、利用促進	バスロケーションシステムの活用	バスロケーションシステムの利用促進を行う。	まちづくり推進課	まち
	デジタル活用支援	スマホ教室の開催、スマホ教室内容のニーズの調査	地域の要望に応じた高齢者向けスマホ教室の開催	講座内容を、初級編、検索編、アプリ編、LINE編などの中から、事前のアンケートをもとに、各地区等が希望するコースで実施する。	デジタル化推進室	デジ